



東日本大震災から15年。震災を 機に「安全と命」の大切さ再確認した。 そして、私たちは決して忘れない。



原発事故により制限されている地区
(2018年ころ撮影)



原ノ町駅に放置された車両
(2016年ころ撮影)

東日本大震災から15年。あの時、私たちは「安全」と「命」の重みを痛感しました。家族と仲間を守ることこそ、働く者にとって何より大切なことです。しかし今、事故やこれまで想定していなかった事象が各地で起きており、安全への意識が薄れてきているのではないかと感じます。だからこそ、あの教訓を風化させてはなりません。JR東労組は、現場の声を大切にしながら、一人ひとりが安全を自分のことと捉え、行動する職場づくりを今後も進めていきます。

今一度、安全と命の大切さを胸に刻み、組織強化・拡大を共にしていこう！

もう一度原点に立ち返り、仲間の命を守る
安全な職場造りを共に考えていきましょう！